



# 日本橋中


**10月号**  
 中央区立日本橋中学校  
 電話(3851)4074  
 FAX(3865)2944  
 HP アドレス  
 www.chuo-tyk.ed.jp/~nihonbasi-jh/  
 発行日 令和2年10月2日

教育目標「考える人になろう 心ゆたかな人になろう たくましい人になろう みんなのためにつくす人になろう」

目指す学校像「凜として 確かな学びで大きく伸びる日本橋 心通わせ 夢叶う学校」

目指す生徒像「輝く未来を語り合い 創造することのできる生徒」

「目標を立てて行動する」

## 10月の予定

副校長 磯田耕司

2学期のスタートは8月下旬の酷暑のなか熱中症に気をつけ、新型コロナウイルス感染防止のため窓を開け換気をしながらの例年と違う学校生活でした。9月中旬からは朝晩は過ごしやすく、やっと秋の気配が感じられるようになりました。昨年の大型台風の被害や、いつ発生してもおかしくない首都直下型地震など自然災害にも備えなければなりません。依然と終息の方向が見えない新型コロナウイルス感染拡大防止など一人一人が自分の命を守り、周りの人と協力して危険を回避する力を身につけ行動することが大切な時代になっています。

今年度は多くの行事が延期や中止となっています。3年生にとっては8月下旬に3年生中央区夏季連合大会が開催され各部とも優秀な成績をあげ中学校部活動生活に区切りをつけられました。3月下旬からの自粛生活。様々な過ごし方がメディアで紹介され、参考になることも多くあったかと思えます。そのような中、私の知り合いで「東海道五十三次 492 キロを歩く」17日間で「東京・日本橋」から「京都・三条大橋」まで徒歩で行くという企画を立て、実行した若者がその旅で得たことについて紹介します。

コロナ感染防止のため公共交通機関の利用を避けて行く、行くからには何か実になる行動をしようと各宿場町の旅館やホテル、食事処等コロナの影響を受けているだろう施設を取材しながら応援しようと8月11日男二人女一人で雨の日本橋をスタートしていきました。ただひたすら歩きつづける。目標に向けて歩けば、いつかはゴールにたどり着くだろう。体力勝負の我慢大会と思っていました。川崎・藤沢・小田原・箱根と一日平均30kmをひたすら歩く、コンクリートは足にダメージがきつく、夏の暑さでとても17日間もたない。2日目、3日目はあまりの痛さにタクシーに乗っても誰も見ていないからわからない、箱根峠でやめてもいいのではと弱音を吐く状態になったそうです。この旅の最も重要なポイントになった取材が箱根峠にある創業400年の「甘酒茶屋」の13代目若旦那への取材でした。コロナ感染防止で観光客が激減した日々が続いていますがいつも通り通年営業をしています。昔から一週間に一人、10日に一人などとても店を開けてももうけにつながらない状況の日々は多々あり今回のコロナによる観光客の激減も同様です。なぜ店をあげるのか。それは「売り上げや利益だけを追求して店をやっているのではない」なぜ、400年間一日たりとも休まないで店を開いているのか。それは、大雨、大雪、猛暑の日、どんな日にも箱根の山を登ってきた人が、休憩できる場所が開いていることに「**意義がある**」という店主の気持ち、信念のようです。登山者や自転車だけがをした方が助けを求めに来られるかもしれない。万が一に備えて店を開いている。お客様のためにお店を開き、旅人に休み処を提供し続けるのが店の使命でもあり、店を開いている「**意義である**」という店主のことばであったそうです。「日本橋」から「甘酒茶屋」までの歩行距離はまだ100km弱。まだ3日目。この出会いがなければ、つらくて、つらくて、ここでリタイヤしていたとのこと。彼らは店主の話から、ただ単に歩くのではなく、492kmを歩く「**意義を見つける**」こととなったそうです。気温が35度になる中、一日12時間歩き取材を行う。相当苦しいはずが、明らかに進むスピードが早くなったのを彼らは実感していました。道中で取材した他の老舗旅館や飲食店でも、売り上げやもうけを追求しているわけではなく「地域においてどのように貢献していくか」「お客さんのために考え経営をしている店」がコロナに関係なく繁盛していたことに驚きを覚えたそうです。そして、コロナが大変と思え立ち止まるより、歩いたことで前に進めることができた。仲間が増えた。本来の人の生き方を教えてもらった出会いであったようです。

新型コロナウイルス感染防止のため、これからも自粛生活を続ける必要が続くかもしれません。しかし「自粛」とは「何もしない」ことではありません。今ある環境の中で、自分のできることを行うこと。これがwithコロナに生きる私たちがやるべきことだと、『人生』生きるうえで大切なのは『**目標を立てて行動すること**』それは、どんな時代でも人間が成長するために必要なモチベーションです。

		行 事
1	木	都民の日
2	金	安全指導 英語検定(3)
3	土	
4	日	
5	月	専門委員会
6	火	避難訓練 腎臓検診2次
7	水	腎臓検診2次
8	木	進路説明会(3) PTA 学年部会
9	金	通知表配布
10	土	土曜授業日 学校説明会
11	日	区民スポーツの日
12	月	全校朝礼
13	火	専門委員会
14	水	
15	木	校外学習(1)
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	生徒会総会
22	木	
23	金	漢字検定
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	救命講習会(2)
28	水	腎臓検診3次
29	木	腎臓検診3次
30	金	
31	土	

### 11月のおもな予定

- 3日(火) 文化の日
- 4日(水) 安全指導
- 5日(木) 三者面談(全学年) (5・6・9・10・12日)
- 13日(金) 専門委員会
- 14日(土) 土曜授業日
- 17日(火) 避難訓練
- 18日(水) 第3回定期考査(~20日)
- 20日(金) 未来につなぐ生き方講演会
- 23日(月) 勤労感謝の日
- 28日(土) 土曜授業日

### 10月の目標

**生活…友達と協力しよう**  
**保健…衣服の調節について考えよう**  
**給食…偏食をなくそう**

## 生徒会役員選挙

### 生徒会担当

9月26日に生徒会選挙が実施されました。今年度は、感染症拡大防止の観点から例年とは違う形態での実施になりました。三密を避けるために体育館での立会演説会をせず、事前に録画した候補者と応援者の演説を各教室で視聴し、その後クラスごとに体育館で投票しました。録画の映像ということで、リアルタイムならではの緊張感や迫力には欠けていたかもしれませんが、映像により鮮明に候補者の表情を見ながら主張を聞くことは、投票する上で大いに参考になったのではないのでしょうか。また映像を通して、1年生のフレッシュさや勢い、2年生の自ら学校を背負っていくのだという気概、3年生の最上級生としての堂々たる姿勢を垣間見ることができた貴重な機会になりました。

投票では中央区選挙管理委員会の協力を得て、都知事選など実際の選挙でも用いられる記載台や投票箱、用紙交付機を使用させていただきました。社会とのつながりを意識しながら、厳粛な雰囲気の中で投票することができました。



## 「定期健康診断」

### 養護教諭

新型コロナウイルス感染症の影響で、延期になっていた健康診断が始まりました。

感染予防として、①検診場所が換気の悪い密閉空間にならないよう環境整備をする ②検診時、近距離での会話や大声での発声を極力控える ③待機中の廊下で三密を避けた配慮をする等、工夫して進めております。学校医の先生方には、接触・飛沫による感染リスク低減のために、事前打ち合わせの段階から生徒が安心安全に検診を受けられるよう様々なご配慮をいただき、今回実施することができました。

健康診断は、生徒に自身の健康状態への関心をもたせる教育的目的と、疾患を見つけるためのスクリーニング



の役割もっています。健康診断後に「治療勧告書」を配布されたご家庭は、今後の健康の保持増進の参考にしていただき、今年度中に医療機関を受診と再度用紙のご提出をお願いいたします。

## 教育実習を終えて

### 国語科教育実習生

この度は、3週間、大変お世話になりました。ありがとうございます。座学だけでは学べないことがたくさんあり、新鮮な毎日をごさせてくださいました。日本橋中学校の生徒の皆さんと関わっていくうちに、皆さんの素敵な姿をたくさん見ることができました。友人を思いやる行動を見るたびに、こういう素敵なことを、素直にできる人になろう！と思う日々でした。教職員の方々には私たち実習生に、指導について何度も助言をくださったり、気にかけて声をかけてくださったりしました。大変だと思いましたが、それ以上に楽しんで学び、人の温かみにふれながら過ごすことができたのは日本橋中学校だったからだと思います。

ご多用の中、多くの時間を割いてくださった教職員の方々、元気に挨拶をし、真剣に授業に取り組んでいた生徒の皆さんから学んだことは忘れません。本当にありがとうございました。

### 数学科教育実習生

このたびはこのような状況の中での教育実習生の受け入れ、そしてご指導いただきありがとうございました。青木先生をはじめ、多くの先生方はご多用な中でも、丁寧にご指導くださいました。また日本橋中学校のみなさんと時間を共有し、学びを得たこと、大変うれしく思います。今回の実習では日本橋中学校の雰囲気や生徒の様子を知るだけでなく、自分自身の成長につながる、大変貴重な機会となりました。実習中は2年生の数学科の授業及び2年1組を担当させていただきました。日々を過ごしていく中で、生徒の皆さんとの距離が近くなり、周り協力して物事に取り組む姿や楽しそうに話をする姿、部活動に一生懸命に励む姿など様々な一面を見ることができました。本当にこの3週間教職員、生徒の皆様を支えられていることを実感しました。この経験を活かし、今後も努力を続けていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

### 養護教育実習生

この度は3週間にわたり養護実習の機会を与えて下さりありがとうございました。短い期間でしたが、実際に養護教諭の職務を実践したり生徒と接したりする中で、大学の講義だけでは分からなかった養護教諭の役割や生徒の成長発達上の特性を学ぶことができました。生徒の皆さんに伝えられたことは少なかつたと思っておりますが、皆さんから学べたことは数多くありました。

指導教諭の竹渕先生をはじめ、教職員の皆様はご多用の中でも丁寧にご指導して下さい、心より感謝申し上げます。教職員の皆様、生徒の皆さんにとって大切な時間とともに過ごさせていただいたこと、また皆様のご厚意を思い起こし、この度の貴重な体験を今後生かして参りたいと存じております。誠にありがとうございました。